

令和7年度「八尾の小さな巨匠展」ホームページ開催にあたって

八尾市教育委員会
教育長 浦上 弘明

「八尾の小さな巨匠展」の開催にあたり、教育委員会を代表いたしまして一言ご挨拶申し上げます。

「八尾の小さな巨匠展」のホームページ開催を迎えるにあたり、心よりお祝い申し上げます。今年度も、子どもたちの個性豊かな作品がホームページ上で公開され、多くの方々にご覧いただけることを嬉しく思います。ホームページでの展示は、時間や場所を超えて多くの方々にご覧いただける新しい形の交流の場となっています。

ホームページ展示を通して、子どもたち、保護者の皆様、地域の方々が、八尾の子どもの豊かな感性に触れ、喜びを分かち合っていることを願っています。

さて、子どもたちの一人ひとりの作品に触れると、その中に込められた想いの豊かさと力強さに、自然と温かい気持ちになりました。また、作品の細やかな表現や優しい色づかいからは、子どもたちの繊細な心や思いやりの気持ちも感じられ、子どもたちの心の動きや思いがそのまま形になっているように感じます。

さらに、作品づくりの過程を想像すると、単に技術や器用さを磨くだけでなく、子どもたちの「豊かな感性」、「創造する力」や試行錯誤を繰り返しながら「最後まで取り組む姿勢」、仲間と協力する経験を通して「共感し協働する力」が育まれていることが分かります。こうした力こそ、子どもたちがこれからの社会で他者と関わりながら生きていくための大切な基盤となるものです。

子どもたちの作品を拝見し、日頃から子どもたちを見守り、励まし、創造性を伸ばすための先生方の熱心な指導があったことが強く伝わってきました。それぞれの子どもが自分の思いを自由に表現できる環境を整えるために行われたご尽力が、今日の素晴らしい成果として結実したことに感銘を受けるとともに、子どもたちが今後もより大きく成長していくための土台がここにあることを感じました。子どもたちの成長を支えるその姿勢に感謝の意を込めてお礼を申し上げます。

最後になりましたが、「八尾の小さな巨匠展」を通じて、八尾の未来を担う子どもたちが、さらに大きな夢を描き、挑戦し続けるきっかけとなるため、特別支援教育をさらに発展させ、社会全体が障がい者理解に対してより豊かに、より優しさを持つための一助となりますことを祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。